



想青会スローガン

あ い そ う

愛 想

～輝け！みんなのワクワクを～

4月12日(水)5時間目、想青会オリエンテーションが行われました。想青会の今年度のスローガンは「愛想」。お互いがお互いのことを思いやり、毎日がときどきわくわく、そしてきらきらするような学校にしていきたいという思いのこもったスローガンです。

「愛想」の語源は「あへしらう」という説があります。

あへしらう…受け答える。対応する。もてなす。交際する。

こうした意味のある言葉です。相手を重んじて、相手を大切にすることを表すような言葉。そこから生まれた「愛想」は、お互いのことを尊重し合い、学びあい、育ちあっていくために欠かせないものだと感じました。

発表を聞いていると、どうやらこの言葉は児童生徒の思いを汲んで考えた言葉とのこと。想青学園のみんなが大切にしたい思いがぎゅっと詰まった素敵なスローガンができたのではないのでしょうか。これから全員で大切にしていきたいと思います。



想青会オリエンテーション前のこと。体育館に児童生徒が移動をしていました。職員室の外に出ると、2年生が体育館に入ろうとしているところ。きれいに並んだ2年生は、一言も話さず、静かに体育館に入っていました。新1年生が入学し、ひとつ上の学年になった2年生。きっと身体だけでなく、心も大きく頼もしく成長しているのでしょうか。そうした姿を見て、1年生も同じように成長していくのだと思います。とてもうれしい姿でした。

想青会オリエンテーションの後半は部活動紹介。6年生と7年生に向けて、各部が趣向を凝らした発表を行いました。トップバッターでさぞかし緊張したであろう卓球部のみなさんを始め、ネットが置けない中でもテニスの魅力を伝えたテニス部、一人一人が心を込めて音を奏でた吹奏楽部、表現することの楽しさを様々な作品で教えてくれたArt&Digital部、見事なパスをつなげて魅了したバレーボール部、「ボールは友だち」を体現して見せたサッカー部、どんなボールでもタップをつなげる姿を見せた男子バスケットボール部、華麗なシュートとドリブル、連携を披露した女子バスケットボール部、まさかのサプライズゲストで会場を湧かせた野球部。きっと6年生も7年生も自分が入部することをイメージしながら見ていたことでしょう。

オリエンテーションの最後に尾山先生が大切なことを話していました。

「部活動に入っている人も、入っていない人も、放課後のその時間は何を頑張る時間なのかをしっかりと考えてもらいたい。」

授業だけでは学ぶことのできないことはたくさんあります。部活動で学べることもあれば、自分で主体的に何かに取り組んで学べることもあります。今しかできないこと、今だからできることを大切に、自分にとって何か学びのある放課後にしてもらいたいと思っています。そして、頑張ってよかった、やり遂げてよかったと自分で思えるような、お互いにたたえ合えるような学校生活にいきましょう。

発表を行った、想青会執行部のみなさん、部活動のみなさん、一生懸命発表を聞いていたみなさん、本当にお疲れさまでした。とても素晴らしいオリエンテーションでした。

想青学園 欠席・遅刻・早退 連絡フォーム

QRコードを読み取って、必要事項を入力してください。

